



# こうべ森の学校だより

No.65  
2015年7・8月号

発行人：こうべ森の学校 編集委員会  
 発行所：神戸市北区山田町下谷上中一里山 4-1  
 神戸市森林整備事務所内  
 Tel: 078-371-5937 Fax: 078-371-1087

## 六甲山サミット開催される



6月28日(日)神戸大学出光佐三記念六甲台講堂にて、「六甲山サミット」が開催されました。

六甲山グリーンベルトにおける、森の手入れをしている団体に対して、六甲砂防事務所長から感謝状が贈呈されました。

受賞団体は、いたやにすと、六甲ジョウビタキの会、パナソニック電工・フォレスター松寿、ほくらグループ、ブナを植える会、兵庫県山岳連盟、コベルコシステム以上7団体でした。

久本神戸市長から、六甲山の防災に関する取り組みをやグリーンベルト事業への期待などをお話いただきました。

続いて行われた、神戸大学と松蔭女子学院大学学生による「若者と語る、六甲山の森づくり」では、若者の視点から森づくりの魅力の発信方法を提案していただきました。



神戸市・芦屋市・西宮市・宝塚市の各市長及び副市長による「パネルディスカッション、土砂災害に強い六甲山の地域づくり」では各市の取り組みをお話いただき、締めくくりは「住吉中学校生徒会の皆さんからのメッセージ」を受け取りました。

六甲山の環境保全に携わる多くの仲間と交流することができた有意義な催しでした。



平成 27 年 7 月 11 日例会時の集合写真

シリーズ ボランティア活動 ⑦

## 私のボランティア実践から

東郷 賢治

障がいのある人達と

私が教職を終えたのが1996年で、三十数年間の半分は障がい児教育に関わっていたので、教え子の中には進学や就職に全く縁のない者が圧倒的に多い。



彼等の多くは障がい者手帳・年金の対象者であり、当然のことだが親亡きあとも生きていかなければならない。

かつてある親が子どもの将来を案じて自らの手で彼の生涯を断ち切ったと言う悲劇に遭遇した。考えられない事ではあるが、親として心配のあまり、彼には他に手立てはなかったのだ。

現在では福祉への理解も進んで「地域で生きるための支援」は随分と改善され、法的な秩序が少しずつ整い、さまざまな施設や仕組みが実現されるようになってきた。



しかし、現状では彼等のハンディキャップは医学的に軽減することはほぼ不可能であり、与えられた人生を彼は彼のハンディと共に生きていかねばならない。その過程で如何に生きがいを見出すか。日々の暮らしに喜びと感動を体感してもらえるか。そんなことを彼等と一

緒に考えたり、模索しているのが私のもう一つのボランティアである。彼等と付き合い始めてかれこれ四十数年になるうか。これからもこのご縁はずっと続くであろう。



私は毎週木曜日垂水区にある福祉法人「しんじゅ」の支援施設へ行くことになっている。十数名の在籍者だけ全員揃うことは少ない。彼等は四肢に不自由さがあり、多くは車椅子生活である。知的にもハンディがあつて、言語も不明瞭であつたり、全く話せない者もいる。

ここでの私の役割は創作活動のプログラマーであり、指導者であり、準備から後始末までの何でも屋である。時にはトイレへの介助もする。ある時は赤いベストでモデルにもなる。鉄の使い方のサポートもする。定規やコンパスの使用は難しい。片手で粘土をひねることは得意じゃない。折り紙をきちんと折ることは至難の業。でも、やってみよう！挑戦しよう！できたじゃないか！と一緒に喜んだり、握手したり。

決して上手だとか 小奇麗とか 完成品だとかは目標ではない。頑張りとおねばりに拍手し、彼らしさが表現できた時みなに紹介してべた褒めする。創作活動で満足感や達成感をたとえ小さくてもいい、一回だけでもいい、彼がニマリと微笑むことが出来るよう私は絶えず働きかけている。

一方日々の指導員の仕事はお茶沸かしから始まって、受け入れ準備やプログラムの打ち合わせ、送迎バスの到着と同時にソレッとトイレへ直行。健康観察と体温や血圧測定。お茶を飲ませる。連絡帳に目を通す。朝の会の進行では阪神の惜敗の解説もする。作業や訓練の全体指導や個別のキメ細かな指導。居眠りする人への介護も。電話への対応。散歩での気分転換。etc etc

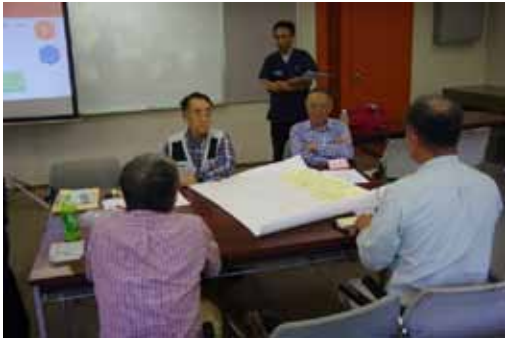
昼食時の摂食指導も食後の歯磨きも一人一人手順が異なる。本当に多忙で常に手を求められている。だからせめて私がボランティアしている日だけでもと全員のコップやスプーンやフォークを洗ったり、昼食の食器の後始末や残飯処理を引き受けることにしている。

車椅子での散歩やマッサージの要望にも応えねばならないし、歩行訓練や時計の読み取り指導等々私の役割も多種多様で結構忙しい。教育や福祉の仕事は人と人とのつながりの中で初めて成り立つ部分が多いだけにどこまでやればいいのかという線が引けない。でも、丁寧に関わればそれだけのことはあることも又明瞭である。

ここにきて私のハンディのある人達との絆はある意味でボランティアの範ちゅうを越えているかもしれないと思っている。



## 森林ボランティア養成講座



平成27年度兵庫県森林ボランティア養成講座がスタートしました。中級リーダー編と上級リーダー編も同時に開講して

おり、こうべ森の学校から、スタッフの中里さんと長塩さんが受講しておられます。

7月18日第2回目の講座がグリーンピア三木で開催されました。台風11号の影響で交通機関が大きく乱れていましたが、全員無事集合することができ、この回の課題であるグループ討議に取り組んでおられました。

この講座には、兵庫県および近隣の府県からも受講しに来られます。他の森林ボランティア団体の方と情報交換したり、森の手入れや安全に関する知識を習得するために役立ちます。



## 草刈り機を導入しました

従来、森学では安全面から動力道具は使用していませんでした。

ログハウス裏の背山周辺は笹が繁茂していて、ハイカー等の通行も多い場所なので、従来の作業には刈込み鋏や剪定鋏で行っていましたが、身体的にきつく非効率でした。

この草刈り機は、円盤状の2枚の刃を重ね、それぞれが逆方向に回転して、草をハサミ刈りするもので、主に笹等の下草刈りに使用しています。従来の刈払い機で起こりがちだった“飛び石”や“障害物への接触による跳ね返りで機械が振られる”等の危険性も回避されます。こういった安全性や操作性の向上から、3台導入することとしました。とは言え、刃が高速回転するため周りに注意し、操作を慎重に行わなくてはなりません。

このため、取扱いの研修を終えたスタッフ限定で使用しています。背山周辺で刈り終えた場所を見かけたら、「この草刈り機を使ったな」と思ってください。



## シリーズ 私のヒヤリハット⑤

誰でも事故は起こしたくないものです。森での作業は刃物や工具を使うため、ちょっとした気のゆるみが、取り返しのつかない事故につながるケースが多々あります。

大事故になる一歩手前のヒヤリハット事例の情報をみんな

んで共有して、事故やケガの未然防止に努めましょう。

平成27年8月16日11時頃21区、晴れ。

玉切り後、3



cm径程の枝を自身の腰高正面で、左手で水平に持ち、手鋸で切断していました。

もう、そろそろ切断できると鋸を引いた時、切り離れた勢いで鋸刃先の辺りが自身の右膝内側を直撃しました。

引く力を緩めていたのと、たまたま厚めのジーンズを着けていたため、打身と皮膚に歯形が残った程度で治ま

りました。

枝払いしたものを広場に持ち出し、作業をしていたので、足元は平坦で周りは邪魔になるものもありませんでした。左手で腰高に水平に持ち作業をしていたため、不安定な状態でした。

鉋の使い方と同様に、一方を地面等につけ安定させるか、腰を落として低い位置での作業をとるべきだと思います。

従来から同様のやり方をしていたので、自身では普通の行為でした。幸い、今回は軽傷で済みましたが、もしこのような事が起こらなければ、この行為を続けていて、より大きな怪我に至っていたかもしれません。

## お詫び

「六甲の野鳥撮影の記録」と「六甲花散歩」は7・8月号、9・10月号は都合により、休載させていただきます。また「こうべ森の学校だより」の発行が大幅に遅延しましたことをお詫び申し上げます。

■前々回・前回の報告

日付	参加者	司会	午後・森の手入れ	木工工作	自然観察	苗づくり
6月21日(日)	47名	中里さん	14名	13名	8名	4名
7月11日(土)	52名	谷本さん	14名	17名	10名	6名

■東お多福山再生プロジェクト

7月22日(水)の東お多福山における平成27年度第3回の活動は、台風11号の影響による、林道の土砂崩れのため、中止となりました。

今後の活動予定

10月7日(水)秋の植生調査及び外構の笹刈り

11月25日(水)晩秋の全面刈りその1

12月12日(水)晩秋の全面刈りその2



お知らせ・掲示板

♣バスの運行

こうべ森の学校月例会には神戸市バス25系統(三宮～森林植物園)をご利用ください。三宮の乗り場はミント神戸1階三宮バスターミナルM4停留所、9時20分発のバスに乗れば、例会に間に合います。

運行日は4月～11月の土日祝日のみで、平日の運行はありませんので、ご注意ください。

また阪急バス61系統(神戸駅南口～鈴蘭台)は通年運行しております。神戸駅南口バス停9時発のバスに乗り、水源池バス停で下車して徒歩25分で、こうべ森の学校「風楽山荘」に到着します。

平成26年度から再度公園駐車場が無料開放されています。こちらもご利用ください。

♣摩耶の森クラブ

次回開催予定日については、神戸市森林整備事務所にお尋ねください。

♣こうべ森の小学校 & 森のようちえん

次回開催予定日については、神戸市森林整備事務所にお尋ねください。

♣ボランティア保険に加入していますか

森の手入れの作業中の事故に備えて「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済保険」への加入手続きをされていますか。掛け金は500円の負担で補償期間は4月1日から翌年3月31日までです。受付窓口はお住まいの市区町社会福祉協議会です。

会員活動の開催予定日

- ・月例会 11月14日(土)・12月20日(日)

午前中は全員で森の手入れを行います。午後は自然観察・木工・苗作り・森の手入れから選択をしていただきます。

- ・上記以外の火・木・土曜日も活動しています。

「こうべ森の学校」は、発足当初から物心両面にわたり伊藤ハム株式会社の社会貢献活動の支援を受けて運営されています。

編集後記

昨年夏、「再度山永久植生保護区」の調査が行われました。(本誌60号P2に記載)。

41年前(1974年)から5年毎に、定められた区域に生きる植物の名前、背丈、枝の張り具合等々を細大漏らさず記録し続ける、というその第9回目の年だったので。調査後はその状態のまま5年後の調査を待つというものです。

今後も続くこの地味、且つ確実な調査に当られる学術員の方々の姿に感心しました。また、ハイテクやIT技術が進む今の社会にあって、利便性や生活コストをついつい気にし“せわしい毎日”を送りがちな私には、

”何か悠然とした空間で時間を過ごした、“という気持ちでした。(I.H)

